

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当 部課	部課コード	810600	2991-0308
事業コード	収蔵庫設置推進事業		生涯学習推進センター		
810611			グループ	ふるさと研究グループ	
開始年度		平成 21 年度	終了年度		平成 年度

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、生涯学習推進計画、旧並木東小学校活用基本計画			社会教育法 博物館法	
	関連・類似事業	所沢ブランド				
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針
事業開始の背景	平成7～9年度の「所沢市立博物館建設のための市民懇話会」で収蔵庫の必要性が指摘され、「所沢市立博物館基本構想策定委員会」(平成10～14年度)も資料増大に対応できる収蔵庫が博物館内に必要と報告している。平成21年度に生涯学習推進センターで、「ふるさと所沢」の自然・歴史文化等に関する資料を収集・保存し、調査・研究、活用する「ふるさと研究活動」を開始、資料は、生涯学習推進センター・旧庁舎・第二文書庫(旧富岡公民館)に分散して保管しているが、面積は十分ではなく、また劣悪な環境などにより、長期的な保存にも資料の有効活用にも問題を抱えている。規模や設備の整った収蔵庫の設置が急務である。					

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 現代を生きる我々の責務として、社会の変化に伴い散逸しがちな、所沢の自然・歴史・民俗・芸術・文化・産業等に関する資料(「ふるさと研究資料」)を収集し、適切な環境で保存し長く後世へ伝えるため。あわせて、それらを公開等で活用することにより、市民の生涯学習を支援し、郷土への愛着を深めるため。なお、これらのためには基盤となる調査研究が必要不可欠である(=すべてを合わせて「ふるさと研究活動」と呼んでいる)。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	0 m ²
	ふるさと研究資料を長く後世まで保存・活用できる収蔵施設の整備			平成 27 年度	0 m ²
事業の具体的な内容及び実施方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・市が現在保有している「ふるさと研究資料」の内容・量と、将来的な資料増加を見越した必要収蔵スペースの検討(当センターならびに他課で管理しているものを含む) ・資料収集基準の策定 ・既収集資料の整理 ・資料の材質等の違いによる、保存のために必要な施設・設備の検討。その他、必要な機能・設備の検討 ・類似施設の調査 ・建設経費、維持管理経費等の検討 					

経費	会計種別	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
	一般会計	予算現額	0	0	0	0	0
	決算(見込み含む)	0	0	0	0	0	0
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)		
	正規職員人件費	0.14 人	1,221	0.13 人	1,126		
	事業費合計	1,221	1,221	1,126	1,126		
	財源内訳	一般財源	1,221	1,126		0	
		国・県支出金					
		その他()					

実績	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28見込み	将来目標
				実績	目標	実績	目標		
活動実績	教育総務部内の協議	文化財保護課・教育企画室・図書館等	回	4	0	0	0		
	教育委員会内の協議	郷土史料等保存対策プロジェクト等	回	2	14	0	0		
	関係課との協議	プロジェクト後に実施	回	0	0				

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値	将来目標
				目標値	実績	目標値	実績		
成果指標	郷土史料等保存対策プロジェクト報告書発行	プロジェクトの検討結果(収蔵庫計画素案)の報告書を作成	回	0	0	1	0	0	
				0	0	1	0		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	****	100		どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	平成26年度末に発足した郷土資料等保存対策プロジェクトが本格的に活動し、市内外の博物館等資料収蔵施設の見学等を行い、郷土史料等保存対策プロジェクト研究報告書をまとめた。 また、ふるさと研究活動における資料の収集方針を定めた。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	現在所有している資料を少しでも長く後世へ残し、また、今後損失の恐れがある資料を収集することは、文化財保護の面からも、そして市の重要施策「地域ブランド」を支える為にも必要である。
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	・関係課協議 ・旧庁舎に保管している資料等の中長期的保存対策を検討 ・類似施設等の調査
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	郷土史料等保存対策プロジェクト研究報告書の報告会を実施した。郷土資料の散逸を防ぎ、保存することの必要性や、それらを後世に伝えていくため必要な施設について、市民に知らせ、意識を共有するため収蔵庫フォーラム等を開催する。		ふるさと所沢の地域資源となる資料の散逸を防ぎ、保存することの必要性や、それらを後世に伝えていくため必要性について、様々な場面で市民に周知していく。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	生涯学習推進センター所長 倉富恵理子	

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	施設の建設	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無